	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書
	普通科・薬業科・商業科・海洋科	1	芸術	音楽Ⅰ	2	Tutti+
	科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、創意工夫を生かした表現と音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができ、音楽文化についての理解を深める。				

月・考査等	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など	知識・技能	思考判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思う】	主体的に学習に取り組む態度 【態】							
4	オリエンテーション 歌唱へのアプローチ	校歌 【歌唱】 おおシャンゼリゼ 浜辺の歌	言葉の特性と曲種に応じた歌唱表現について理解している。 姿勢、呼吸など発声の技術に気をつけ、歌唱している。	旋律、リズム、拍子、速度、強弱などそれらの働きを感受し、曲種に応じてどのように歌うか自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	曲の特徴を生かして、主体的、協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技評価			○	○	◎	
5	歌の旅に出ようⅠ イタリア歌曲	【歌唱】 O sole mio(我が太陽) Caro mio　ben	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、イタリア語の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発音、発声に気をつけ、歌唱している。	イタリア語の特性を感受し、曲種に応じてどのように歌うか表現意図を持っている。 速度とその変化、強弱とその変化などカンツォーネの特徴を感受し、どのように歌うか表現意図を持っている。	イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 ワークシート			○	◎	○	
中間考査												
6	引き語りに挑戦しよう	【器楽・歌唱】 翼をください	曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方、発声の技能を身につけ演奏している。	曲種に応じた楽器の奏法・息づかいに気をつけ、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	音楽表現を創意工夫しながら演奏をすることに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 ワークシート			○	◎	○	
期末考査 7												
	イメージをもって歌おう ―情景と音楽―	【歌唱】 夏の思い出 夏は来ぬ	曲想や曲の構成と歌詞との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、発語などに気をつけ、歌唱している。	音楽と歌詞との関わりに気をつけ、詩情を生かし、どのように歌うか表現意図を持っている。	曲想と音楽の文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技評価 ワークシート			○	◎	○	
	音楽学習のまとめ	1学期の内容	1学期の学習を通して、表現や鑑賞の知識に関する諸事項を理解している。 1学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身につけ、歌唱している。	音楽の諸要素の働きを感受し、曲種に応じてどのように歌うか表現意図を持っている。	1学期の音楽学習のまとめとして、歌唱の実技試験に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	実技試験			◎	◎	○	
8												
課題テ												
9	劇音楽から物語と音楽との関わりに注目しよう	【鑑賞・歌唱】 「魔笛」W.A.モーツァルト 「オペラ座の怪人」A.ロイド＝ウェッバ-	曲想と音楽の文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、他の芸術との関わりについて理解している。	曲や演奏に対する評価とその根拠について考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート			○	◎	○	
10	混声合唱の響きを味わおう	【歌唱】 赤とんぼ ぜんぶ An die Freude（よろこびの歌）	曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関りについて理解し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	他者との調和を意識して歌うことや曲想を生かした表現に関心を持ち、主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技評価 ワークシート			○	◎	◎	
中間考査												
	ギターの演奏を楽しもう	【器楽】 「第三の男」のテーマ グリーンスリーブス	音色や奏法など器楽表現の特徴について理解している。 曲にふさわしい奏法を身につけ演奏している。	自己のイメージを膨らませ、表したい器楽表現について考え、創意工夫し表現意図をもっている。	音楽表現を創意工夫しながら表現形態の特徴を生かしたアンサンブル活動に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 ワークシート			○	○	◎	
11	オーケストラの魅力を探ろう	【鑑賞】 バレエ音楽「ボレロ」M.ラヴェル	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽と他の芸術の関わりについて理解している。	音色、旋律、リズム、拍子、強弱、テクスチュアなど、それらの働きを感受し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととのかわ音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート			○	◎	◎	
	音楽学習のまとめ		2学期の学習を通して、表現や鑑賞の知識に関する諸事項を理解している。2学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身につけ、歌唱している。	音楽の諸要素の働きを感受し、曲種に応じてどのように歌うか表現意図を持っている。	2学期の音楽学習のまとめとして、歌唱の実技試験に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	実技試験			◎	◎	○	
期末考査 12												
12	旋律を作ろう	【創作】言葉を生かして旋律をつくろう ～自分の好きな言葉～	音の連なり及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を生かして旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律をつけることができる。	旋律、リズム、構成などそれらの働きを感受し、どのように音楽を作るか表現意図を持っている。 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲を創意工夫している。	日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくることに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品提出			○	◎	○	
1	日本の歌を歌おう	【歌唱・鑑賞】この道、椰子の実 小さな空、少年時代	日本語の語感、抑揚などの特性と曲種に応じた歌唱との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、発語に気をつけ、歌唱している。	音楽と歌詞との関わりに気をつけ、曲種に応じて曲の特徴を生かし、どのように歌うか表現意図を持っている。 様々な表現形態による歌唱表現の特徴を捉え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。	曲想や曲の構成と歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 ワークシート			○	◎	○	
2	アジアのさまざまな音楽	【鑑賞】日本音楽　越天楽 モリンホール、アリラン、アルフーケチャ、パンソリ	曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的、歴史的背景、我が国やアジアの音楽の特徴について理解している。	音色、旋律、リズムなど、それらの働きを感受し、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴を感じ取りながら演奏について関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート			○	◎	○	
	音楽学習のまとめ	3学期の学習内容	3学期の学習を通して、表現や鑑賞の知識に関する諸事項を理解している。3学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身につけ、歌唱している。	音楽の諸要素を感受し、曲種に応じてどのように歌うか表現意図を持っている。	3学期の音楽学習のまとめとして、歌唱の実技試験に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	実技試験			◎	◎	○	
学年末考査												